

様式第4号（第4条関係）

平成30年10月3日

福知山市議会議長 様

会派名 新政会
代表者名 藤田 守



政務活動費実績報告書

平成30年7月1日付け財政発第95-2号により交付決定のあった政務活動費において、平成30年度上半期（4月から9月）の政務活動が完了したので、福知山市議会政務活動費の交付に関する条例第10条第2項及び第3項の規定により、下記のとおり実績報告書を提出します。

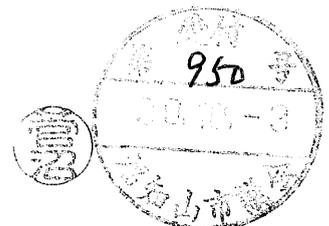
記

- 1 平成30年度政務活動費の額（上半期） 282,012 円
- 2 政務活動費の対象となる経費の内訳

項目	金額（上半期）	主な支出内容
調査研究費	246,552	行政視察 216,920 タブレット端末通信費 29,632
研修費	35,460	地方議員研究会 35,460
広報費		
広聴費		
要請・陳情活動費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費		
人件費		
事務所費		
合計	282,012	

添付書類

- ・政務活動の実施状況及び成果を確認できる書類
- ・政務活動費の収入額及びその内容に関する書類
- ・政務活動費の支出額及びその用途に関する書類
- ・政務活動費の支出に係る領収書の原本又はこれに準ずる書類



(様式1)

平成30年7月30日提出

福知山市議会議長
大谷洋介様

会派名 新政会
代表者名 藤田守 

政務活動費研究研修視察報告書

- 1 視察・研修年月日 平成30年7月17日(火)～7月19日(木)
- 2 視察研修先 (1)長野県小諸市 (2)長野県岡谷市 (3)長野県伊那市
- 3 参加者氏名 藤田守・奥藤晃・柴田実・竹本和也・中嶋守
以上 5名
- 4 経費 合計 216,920円(43,384円/1人あたり)
- 5 視察・研修項目
 - (1)長野県小諸市
持続可能な活力あるコンパクトシティ小諸の再構築について
 - (2)長野県岡谷市
防災行政の取り組みについて
 - (3)長野県伊那市
幼保小連携プログラムによる子ども子育て支援について
- 6 添付資料 視察研修行程表・写真・資料(別添のとおり)
- 7 経費精算書 (別添のとおり)



- 1 視察日：平成30年7月17日（火）
- 2 視察先：長野県小諸市
- 3 調査項目：持続可能な活力あるコンパクトシティ小諸の再構築
- 4 視察理由
 - (1) 本市では目標とする都市構造を踏まえつつ、“福知山らしいコンパクトな都市”の考え方を取り入れたまちづくりへの転換を図ろうとしている。
 - (2) 今後に向けて重要な課題であり、小諸市HPで事前研究するとともに先進地の行政視察により課題対策等を学び研究することにある。
- 5 調査概要
 - (1) 小諸市の概況

明治21年、信越本線が開通、小諸駅は特急あさまが停車する長野県東部の拠点駅として繁栄した。平成9年10月北陸新幹線が開通し、信越本線は、第三セクター路線に転換して、東京直通の恩恵がなくなる。これにより地元経済・観光は大きな影響を受けた。平成12年をピークに小諸駅の年間乗降客は、約50万人減少、中心市街地の人口は、約30年間に約8千人減少し市街地の空洞化が進んでいる。
 - (2) 市庁舎敷地一帯での再構築

小諸市の喫緊の課題は、市街地の活性化、病院の再構築、市庁舎の整備であった。平成21年3月これを打開するため、市役所と小諸厚生総合病院の交換移転、病院の再構築に伴う費用として30億円を支援する街再生計画を打ち出した。説明会や業者選定等経過を経て、平成24年4月に市長選挙があり、地方の財政状況が厳しさを増す中、コンパクトシティの考え方でまちづくりを進めることが市民益につながり、国土交通省の支援が得られる等々様々な状況を踏まえ決断された。平成25年3月には、第1期低炭素まちづくり計画を作成するとともに平成26年には、まち交大賞創意工夫大賞を受賞した。
- 6 考察・効果
 - 課題への具体的な対応方針(複合型中心拠点誘導施設の整備構想)
 - (1) 中心拠点誘導施設の整備にあたっては、先ず事業用地の確保が必要であり“都市機能の集約による賑わいの創出”の観点から、市役所敷地一帯に近接し、空き店舗や空きビルが多く、低未利用地化していく街区を事業用地の対象とし隣接する道路の整備も計画する。
 - (2) 具体的な事業推進の方策は、土地の有効利用及び利用者の利便性、施設間の相乗効果等を鑑み、都市機能を複合化した施設整備を進める。
 - (3) 複合化する施設は、先ず公共施設として、福祉施設と「こもろ愛のりくん」のターミナル、公共駐車場を対象とする。また、民間施設として商業施設を対象とするが、施設の所有区分等の問題から、商業施設はテナント方式を想定する。
- 7 本市での施策実現に向けた比較研究（効果及び課題）
 - (1) 戦略的インフラマネジメントにおいては賢く使うことが重要である。集

約と再編の反映として、特徴は公的不動産の積極的な活用（使用貸借）、病院への財政支援（30億円の内訳：交付金6億円社会資本総合整備交付金、起債11億円、市債12億円）、公共施設（機能）の複合化である。

- (2) 今後、平成30年8月複合型中心拠点誘導施設基本計画を策定・公表し、市民の意見を聴取して具体的な計画を取りまとめ平成32年度中の供用開始を目指すもので計画・事業展開等本市への参考となるものである。

- 1 視察日：平成30年7月18日（水）
- 2 視察先：長野県岡谷市
- 3 調査項目：防災行政の取り組み
- 4 視察理由

平成18年7月に岡谷市で大規模な災害が発生した。豪雨の災害復旧の状況と課題・教訓の分析は、本市にとっても重要であり、情報収集・伝達体制の強化、地域防災力の強化、災害に強い森林づくり、市民への啓発活動等々を行政視察して本市の防災行政の取り組みに反映したい。

5 調査概要

(1) 平成18年7月豪雨災害の概要（連続総降水量約400mm）

被害の状況：死者8名、負傷者12名、全壊10棟、半壊17棟、床上浸水68戸、床下浸水203戸、道路・河川等の施設の被害
復旧の状況：砂防事業、天竜川河川災害復旧助成事業、治山事業、土木・農林業施設、文教災害復旧事業は平成21年度までに完了

(2) 情報収集・伝達体制の強化

初めて経験する大規模災害で、同時多発的な災害となり情報が錯綜・混乱して状況把握に時間を要した。地域連絡員を配置し地域との連絡体制を強化し、防災ラジオの配布等々複数の方法を確保

(3) 地域防災力の強化

市内21区すべての自主防災組織を会員とする岡谷市自主防災組織連絡協議会を平成20年4月に発足して、合同防災訓練・研修会等による情報交換や補助事業により地域特性に配慮した資機材の整備

(4) 災害に強い森林づくり

災害に強い森林づくり指針の策定とこれに基づく間伐・植樹等

(5) 市民への啓発活動と「教訓を忘れることなく」との思い

平成28年4月岡谷市防災・減災基本条例の施行、平成29年度から防災の日（7月19日）に非常食を食べる日と定め啓発、災害危険箇所市民見学会、小中学校の授業において「命を守る学習」等々を実施

6 考察・効果

課題と対策

(1) 土砂、流木等を含めた災害ごみの置場の確保、分別、処分方法、処分場所確保、長野県災害廃棄物処理計画、災害廃棄物対策指針技術資料を参考にして、市の計画を研究中である。

(2) 財源確保は、基金の活用等である。

7 本市での施策実現に向けた比較研究（効果及び課題）

本市においても参考となる資料の整理や現地を確認して、その危険性や現状をしっかりと点検する必要性を痛感した。（現場でないと分からない。）

(1) 平成18年7月豪雨災害の記録として「忘れまじ豪雨災害」の作成

(2) 市議会災害時対応マニュアル（初動行動）の確認

(3) 地形や河川の確認（森林の状況、地形の高低差、道路・河川幅、曲がり等）を現地視察することでより理解が深まった。本市においても防災計画や防災対策等々の説明を受けるだけでなく、実際現地を見て回ることが何より必要である。

（山の斜面が土石流発生に大きく影響することは、現地に行かないと分からない）

- 1 視察日：平成30年7月19日（木）
- 2 視察先：長野県伊那市
- 3 調査項目：幼保小連携プログラムによる子ども子育て支援
- 4 視察理由

子ども子育て支援は、本市においても喫緊の課題である。伊那市の子育てに関する赤ちゃんから中学生までの取り組みや将来、伊那市で子育てをしたい、都会の若い子育て世代が伊那市で子育てをしたいという、移住定住を促進し循環型の社会の構築を図る取り組みを本市にも反映したい。

5 調査概要

- (1) 伊那市子育て環境紹介映像の紹介（平成29年度作成、3,483千円）

目的：移住促進、地域の魅力再発見、子育て教育と定住促進

- (2) 子育てしやすい街伊那市における子育て支援施策

（公立保育園19、私立保育園2、私立認定こども園2、私立幼稚園1）

①伊那市の子育て現状

育児に対する不安の解消の問題、保育内容への対応

②人口減少への対応策：子育て環境の充実、移住促進

③子育て施策：生きる力のある子どもを育む魅力ある保育

遊びの中から学ぶ保育（子どもの自己肯定感を高めるためには自然体験や生活体験が不可欠！）、人・自然・物と総合的にかかわる保育、がるがるっ子の育成、「シンボルツリー」の設定、基本的な生活習慣を身につける保育、伊那市幼保小連携プログラム（3・4期5歳児アプローチ・1学期1年生スタートカリキュラム）、相互参観、キャリア教育

④切れ目のない相談体制の充実

子育て支援センターの設置、育児相談、ウッドスタート事業等

⑤なんとか地域に保育所を残したい。保育から地域を元気に

田舎暮らしモデル地域制度（定住への支援：一世帯当たりにつき75,000円交付、中学生以下子ども1人につき1万円加算、出産祝金第1子より交付）、信州やまほいく認定制度（自然保育への支援）

6 考察・効果

- (1) 遊びの中から学ぶ保育と人・自然・物と総合的にかかわる保育

自然体験や生活体験が不可欠である。がるがるっ子を育成する。意欲を持って行動できる子の育成は大変重要である。

- (2) 幼保小連携プログラムと切れ目のない相談体制の充実

アプローチ・スタートカリキュラム、相互参観、キャリア教育を実践する。子ども一人ひとりの特性に合わせた支援や乳児家庭全戸訪問事業等きめ細かい策が大切である。

7 本市での施策実現に向けた比較研究（効果及び課題）

- (1) 今後の取り組みは、保育士確保、保育士の処遇改善、施設の長寿命化、児童減少地域の保育園のあり方、保育士の平準化等である。

- (2) 保育への支援は、幼児期からの自己肯定感の向上と豊かな成長の保障、保育・幼児教育の多様性の尊重、子どもがまん中の保育・幼児教育の普及、少子化傾向の改善として、楽しいと思える子育てを普及し、子育て世代の移住交流を促進することが本市への取り組みにも必要である。



小諸市行政視察



岡谷市行政視察



伊那市行政視察

ご旅程表

平成30年7月9日作成

京都府知事登録旅行業 第3-499号

福知山市議会 新政会 様

株式会社 KSAエンタープライズ福知山営業所
〒620-0866 福知山市前田新町194
TEL 0773-27-1414
FAX 0773-27-8786

ご旅行先 小諸市・岡谷市・伊那市行政視察 方面

ご旅行期間 平成30年7月17日(火)～19日(木)

参加人員 大人5名、小人0名、合計5名

日次	月・日 (曜)	行 程
1	7月17日 (火)	<p>きのさき4号 のぞみ114号 しなの7号 しなの鉄道快速 福知山—京都—名古屋—篠ノ井—小諸 06:57 08:21 08:45 09:20 10:00 12:45 12:51 13:33</p> <p>小諸市行政視察 『小諸市宿泊』</p>
2	7月18日 (水)	<p>しなの鉄道快速 しなの8号 JR中央本線 小諸—篠ノ井—塩尻—岡谷 岡谷市行政視察 09:14 09:59 10:08 10:59 11:05 11:16</p> <p>JR飯田線 岡谷—伊那 『伊那市宿泊』 15:43 16:28</p>
3	7月19日 (木)	<p>JR飯田線 JR中央本線 しなの18号 のぞみ241号 伊那市行政視察 伊那—辰野—塩尻—名古屋 14:10 14:44 15:02 15:23 16:03 18:05 18:23</p> <p>きのさき17号 京都—福知山 18:58 19:28 20:59</p>
		<p>お願い 現地にてJR、私鉄の時間確認をお願いします。 篠ノ井～小諸、往復乗車券購入をお願いします。</p>

- ☆ホテル.....小諸市 小諸グランドキャスルホテル 電話:0267-22-8000 (シングル5部屋)
小諸駅徒歩5分 費用6,414円×5名様 (ホテルにてお支払いをお願いします)
- ☆ホテル.....伊那市 伊那パークホテル 電話:0265-74-1789 (シングル5部屋)
JR伊那市駅徒歩8分 費用5,940円 (ホテルにて支払いをお願いします)

◎記入例... —— JR +++ 私鉄 ==>=> 航空機 === バス ~~~ 船 | | ケーブル・ロープウェイ ... 徒歩
 ◎備考...このご旅程表は、2017年7月9日現在の予定です。運輸機関のダイヤ改正、道路事情などにより行程が変更になる場合があります。

(様式1)

平成30年 8月 3日提出

福知山市議会議長
大谷 洋介 様

会 派 名 新 政 会

代表者名 藤 田 守



- 1 視察・研修年月日 平成30年 8月 1日 (水)
- 2 視察研修先 一般社団法人地方議員研究会 議会活動集中講座
メルパルク京都
- 3 参加者氏名 芦田 眞弘
- 4 経 費 合計35,460円 ✓
- 5 視察・研修項目【講義内容】
8月 1日 (水) 10:00~12:30
議会改革注意点と議会・議員の未来
14:00~16:30
率直に語る地方議員に関わるお金の考え方

講師 高橋 伸介 氏

1953年京都市生まれ。佛教大学社会学部卒業、京都信用金庫支店長代理を経て、平成11年~平成27年4月まで大阪府枚方市議会議員

- 6 添付資料 (別添のとおり)
- 7 経費精算書 (別添のとおり)



政務活動費研究研修視察報告書（新国会）

平成30年 8月 1日（水）

参加者 芦田眞弘

地方議員研究会（メルパルク京都にて） 講師 高橋 伸介氏

1. 議会改革注意点と議会・議員の未来

- 栗山町の議会基本条例・枚方市の議会基本条例を事例として、議会改革を進める上でのポイントについて、講演をされた。
- 議員間討議は非常に重要であり、そこで交わされる論議が「政策立案」に繋がることもあり活発になればなるほど議会のレベルが上がる。
- 議員の活動を考えた時、私的な議員活動、議会活動、政治活動、選挙活動など多種多様な要素が絡み合っているが、主たる議員活動の任務は「住民福祉の向上と地域社会の発展」である。
- 住民代表という側面と地域意見との調整⇒そして政策提案とうことが大切なこと
- これからの議会質問は、「政策立案機能」「執行機関監視機能」「管理運営機能」の質問を充実すべきである。

（所見）

- 福知山市議会で既に制定している議会基本条例、議会改革の取り組みについて、講師の方の内容から判断すれば特段の問題もなく、むしろしっかり出来ているのではないかと感じた。

2. 率直に語る地方議員に関わるお金の考え方

【政務活動費について】

- 政務活動費は、日本における地方議会の議員に政策調査研究等の活動のために支給される費用であり、もとは政務調査費の名称であったが2012年の地方自治法改正により改称され、使途が拡大された。
- しかしながら政務活動費を巡る事件が相次ぎ使途拡大の目的に相反し、市民の目も厳しく返って使いづらい一面が出ている。
- 不適切な処理を防ぐには、福知山市議会で実施しているような「後払い制の導入」や「インターネット公開（領収書）」が必要とされる。
- 重要とされる政策立案や政策提言、執行機関監視機能、管理運営機能を高めていくには政務活動費は極めて重要である。
- 過去に様々な判例が出ているが、地裁判例はそんなに気にする必要はない。

（所見）

- 福知山市議会の運用状況は透明性が高く、不正の可能性が極めて低いものだと判断している。

【議員報酬・定数について】

○現在は「懲罰」的に報酬・定数の削減が叫ばれる流れになっている。

- ・議員の「仕事」が明確でなく、報酬根拠も薄く批判にさらされやすい
- ・一部首長によるポピュリズム的なキャンペーン
- ・マスコミの取り上げ方も問題で、本質的なことよりも揚げ足とりに終始
- ・選挙公約に定数・報酬減を叫び当選する議員も

○平成20年の地方自治法の改正（203条）では、議員の報酬は数ある非常勤の職員の一つとして規定されていたものを、それらとは独立して「議会の議員には議員報酬を支給しなければならない」と規定した。これは「非常勤の議員報酬」から「議員報酬」へ「公選職」を視野に入れた文言と受け止める。

○このことから根拠がないとされる議員報酬についての基準を同じく公選職である市長と比較して一定の掛け率を用いるという調査会もあった。

○定数について江藤俊昭氏は「指標として常任委員会数×討議できる人数は6名とし、委員長以外を奇数とするなら8人が妥当」という考えを持つ。

（所見）

- 今後の議員報酬等検討委員会における議論の参考としたい。
- 来期より定数2名減による委員会の見直し議論がされており、今後の参考にしたい。

(様式3)

経費精算書

会派名 新政会

(単位:円)

月 日	支出項目	支出額	領収書 No
7月9日	交通費	137,450円	No1
7月12日	手土産代	8,100円	No2
7月17日	交通費	2,880円 1,920円	No3
7月18日		4,800円	
7月17日	宿泊費	32,070円	No4
7月18日	宿泊費	29,700円	No5
	支出合計	216,920円	

交通費：137,450円

領 収 書

平成 30 年 7 月 9 日

福知山市議会 新政会 様

現金 _____
小切手 _____
その他 _____

金 額 **¥137,450**

但し JR代金



国際交流の一翼を担う
株式会社 
KSAインタープライズ福知山営業所
〒620-0866 京都府福知山市前田新町194番地
TEL 0773 (27) 1414 FAX 0773 (27) 8786



* 詳細は別紙

平成30年7月9日

請求書

福知山市議会 新政会 様

毎度格別なお引立てを頂き有難うございます。
下記のとおりご請求申し上げますのでよろしくお願いいたします。

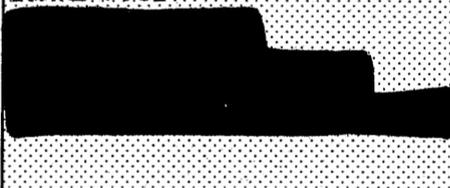
ご請求金額

¥ 137,450 円

日付	種別・適用	金額		
		【単価】	【人数】	【合計】
	** 小諸市・岡谷市・伊那市行政視察JR費用 **			0
7月17日	JR乗車券 福知山～篠ノ井 (往復)	15,120	5	75,600
7月17日	JR特急券 福知山～京都 (自由席)	970	5	4,850
7月17日	JR新幹線 京都～名古屋 (自由席)	2,480	5	12,400
7月17日	JR特急券 名古屋～篠ノ井 (指定席) ✓	1,450	5	7,250
7月18日	JR特急券 篠ノ井～塩尻 (自由席)	1,180	5	5,900
7月18日	JR乗車券 塩尻～岡谷	240	5	1,200
7月18日	JR乗車券 岡谷～伊那市	500	5	2,500
7月18日	JR乗車券 伊那市～塩尻	760	5	3,800
7月19日	JR特急券 塩尻～名古屋 (指定席) ✓	1,340	5	6,700
7月19日	JR新幹線 名古屋～京都 (自由席)	2,480	5	12,400
7月19日	JR特急券 京都～福知山 (自由席)	970	5	4,850
	合計			137,450
	差し引金額			137,450

銀行振込みの場合は 月 日までをお願いいたします。
振込み手数料はお客様ご負担にてお願いいたします。

【振込み先】



株式会社 KSAエンタープライズ

福知山営業所

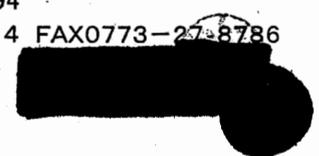
〒620-0866

福知山市前田新町194

TEL0773-27-1414 FAX0773-27-8786

代表取締役

担当者



手土産代：8,100円

小諸市・岡谷市・伊那市分

2,700円×3個

領収証

福知山市議会 新政会様

No.

★ ￥8,100-

但 踊せん入い子個

30年7月12日 上記正に領収いたしました

内訳

税抜金額
消費税額等(%)

収入印紙

コクヨ ケー-1097

福知山市宇天田111番地

夜久花月堂

夜久 操

TEL0773-22-3468

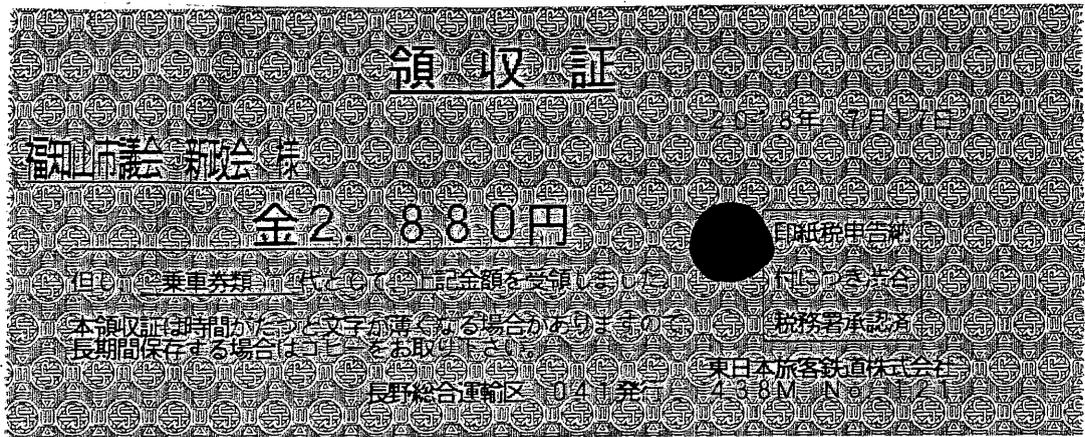
交通費：2,880円

No 3

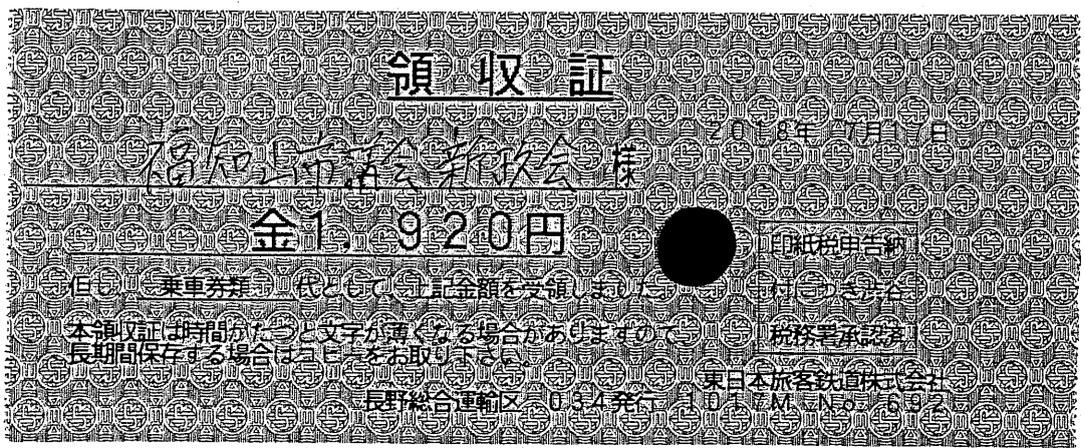
交通費：1,920円

交通費：4,800円

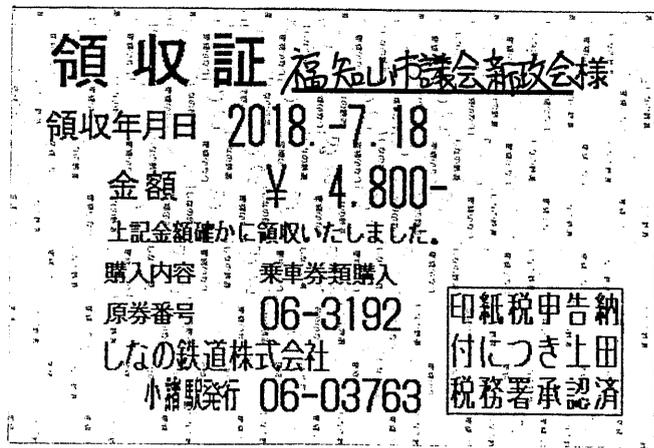
篠ノ井～小諸（しなの鉄道快速）往復乗車券



960円×3名



960円×2名



960円×5名

ご請求明細書
Amount Description

6,414円 x 5名分

伊東園ホテルズ No.4

株式会社 伊東園ホテルズ <http://www.itoenhotel.co.jp>
〒171-0022 東京都豊島区南池袋1-10-13

宿泊費：32,070円

小諸グランドキャッスルホテル

TEL 0267-22-8000

FAX 0267-22-8003

ありがとうございました。またのご利用をお待ち申し上げます。

客室番号 Room No.	お名前 Name Of the Guest	人数 Pers	ご利用日 Date
5503	福知山市議会 新政会 様	5	18.07.17 - 18.07.18(1泊)

日付 Date	摘要 Description	料金 Charges	お支払 Payment	備考 Remarks
07.17	前受金		CA 32,070	
小計 Sub Total		0	32,070	
		(内消費税 Con.Tax ¥0)	ご請求額 Balance Due	32,070
			ご返金額 Refund	

ご署名
Signature

会社名
Firm

No. 201807170098

発行日 2018.07.17

91575 CA 1

株式会社伊東園ホテルズ

<http://www.itoenhotel.com>

領収書
Receipt

福知山市議会 新政会 様

No. 201807170098

2018.07.17

小諸グランドキャッスルホテル

¥32,070

上記正に領収致しました

但、御宿泊代 5名様

印紙税申告納
付につき豊島
事務署承認済

伊東園ホテルズ

株式会社 伊東園ホテルズ <http://www.itoenhotel.com/>
〒171-0022 東京都豊島区南池袋1-10-13

宿泊費：29,700円

領収証

No. 800711

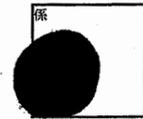
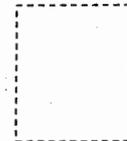
福知山市議会新政会様

金額				7	2	9	7	0	0	
----	--	--	--	---	---	---	---	---	---	--

内訳	
現金	✓
クレジット	

但 御宿泊代 5名様
 2018年7月8日 上記正に領収いたしました

伊那パークホテル
 Ina Park Hotel
 長野県伊那市西町502
 TEL 0265-74-1789



5,940円 x 5名分

[支出科目: 研修費]

[支出費用: 35,460円]

①

<ほくとしんぎん>キャッシュサービス
ご利用明細票

お取扱日 30-07-03 取扱金庫 店番-通番 1620041X-0005
お取引金融機関 お取引店 口座番号 1620-0580

お引出 振込金額 ¥30,000*
手数料 ¥540 お取引後残高

時刻 10:50 金種 00000000000000

振込依頼内容
受取人 (株)チホウキ インケンキョウカ
イ様
依頼人 フクヤマシキ カンセイカ
イ様
TEL 0773276812

京都北都信用金庫 印紙税申告納付につき宮津税務署承認済

②

領収書 福知山市議会 新国会 様
Receipt
領収年月日 2018-7-31
金額 ¥4,920 (消費税等込み)
上記金額確かに領収いたしました
購入商品 JR乗車券類 JR tickets (50131 4枚)
西日本旅客鉄道株式会社
福知山駅
福知山駅MK1発行 60132-02

印紙税申告納付につき大淀税務署承認済

福知山~京都 (往復、特急自由席)

振込手数料 ¥540

③

領収証

福知山市議会 新国会 様 30年8月1日

★ ¥30,000

但 8/1 10:00~「議会改革注意点と議会・議員の未来」
8/1 14:00~「率直に語る地方議員に関するお金の考え方」
研修会受講代として

上記正に領収いたしました

一般社団法人地方議員研究会
〒532-0004
大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639
TEL 06 (7878) 6297

受講料

乗車券 (ゆき)

福 知 山 → 京 都

經由:山陰

8月 1日から 8月 2日まで有効
下車前途無効

¥***

30.-7.31 福知山駅MK1発行
50131-03 (4-) C15

B自由席特急券

福 知 山 → 京 都

8月 1日当日限り有効
1回限り有効
¥970

30.-7.31 福知山駅MK1発行
50131-01 (4-) C10

乗車券 (かえり)

京 都 → 福 知 山

經由:山陰

8月 1日から 8月 2日まで有効
下車前途無効

¥2,980

30.-7.31 福知山駅MK1発行
50131-04 (4-) C15

B自由席特急券

京 都 → 福 知 山

8月 1日当日限り有効
1回限り有効
¥970

30.-7.31 福知山駅MK1発行
50131-02 (4-) C10

(領収証 No. ② の 乗車券、特急券 コピー)

支出科目：調査研究費
 合計金額：29,632円

⑧ 納入通知書兼領収書

口座番号 01090-7-960071 加入者名 福知山市会計管理者

平成30年度 番号 6700029103-00-00

〒 -
 福知山市字内記13番地の1
 納付者
 新政会 様

タブレット端末通信費議員負担金
 (会派請求分)
 平成30年度上半期分(4月~9月)

納付金額 29,632円

納入期限 平成30年 9月28日

所属 01010000 市議会 議会事務局

会計 01 一般会計

款 20 諸収入

項 04 雑入

目 03 雑入

節 01 雑入

細節 60 その他の雑入

説明 15 タブレット端末通信料議員負担金

上記のとおり納付してください。

福知山市長
 大橋 一夫

上記のとおり領収しました。

京都府福知山市 市町村コード 262013

領収日付印



(納付者保管)

納 め る と こ ろ	
福知山市役所会計室及び各支所出納窓口	
京都銀行	本店・支店
京都北部信用金庫	本店・支店
京都丹の国農業協同組合	本店・支店
関西アーバン銀行	福知山支店
近畿労働金庫	福知山支店
但馬銀行	福知山支店
但馬信用金庫	福知山支店
福知山市内の京都農業協同組合	
福知山市内の中兵庫信用金庫	
近畿2府4県の郵便局(大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県)	

65000095520000



提出期限:平成30年9月18日

平成 30 年 9 月 13 日

福知山市議会議長 様

会派名
代表者名

新政会
藤田 守 

タブレット端末通信費議員負担金に係る政務活動費充当申請書
〔平成30年度上半期分〕

タブレット端末通信費議員負担金に対する政務活動費の充当について、下記のとおり申請します。

記

- 1 タブレット端末通信費議員負担金に対する政務活動費の充当について
〔対象期間:平成30年度上半期(4月~9月)〕

充当を希望する

充当を希望しない

~~~~~ 〈以下は、充当を希望する場合のみ記入してください〉 ~~~~~

2 政務活動費充当額(会派合計) 金 29,632 円

〈積算根拠〉 ひとりあたり充当額 [ 別紙 ] 円 × 会派人数 [ 6 ] 人  
上限額 5,688円

※ 所属議員の異動のため、ひとりあたりの充当額が全員同額にならない場合は、各議員の充当額が分かるよう、適宜記載してください。

【留意事項】

(1) 政務活動費充当の上限額

(算出根拠)

- ・タブレット通信費 月額 3,792円 [1台あたり通信費(本体レンタル料含む)、消費税込み]  
通信費のうち、議員負担額 1,896円/月(通信費の1/2)  
議員負担額のうち、政務活動費充当上限額 948円/月(議員負担額の上限1/2)
- ・対象期間内の上限額 948円/月 × 6月 = 5,688円

(2) その他の留意事項

- ア 政務活動費の充当の是非は、各会派内の議員が統一の運用を行うこと。
- イ 政務活動費を充当する場合は、会派活動での使用を示す根拠資料を作成し、政務活動費実績報告書に添付すること。
- ウ 対象期間内に所属議員の異動があった場合は、当該議員に係る政務活動費充当額について、会派に所属していない期間を含めることのないよう注意すること。  
この際、所属期間に応じて月額を按分しようとする場合は日割計算によることとし、1円未満の端数は切り捨てる。

## タブレット端末通信費 政務活動費の充当上限額(日割計算)について

## ○【奥藤晃議員】

5月分

新政会 入会日 5月24日

5月の所属期間 8日間

充当上限額(日割計算)  $948\text{円/月} \times 8/31 \doteq 244\text{円}$ (端数切捨て)

6~9月分

充当上限額  $948\text{円/月} \times 4\text{ヶ月} = 3,792\text{円}$ 上限額(合計) 4,036円

## ○【芦田真弘議員】

新政会 入会日

7月1日

7~9月分

 $948\text{円/月} \times 3\text{ヶ月} = 2,844\text{円}$ 上限額 2,844円

## 【井上修議員】

新政会 退会日

3月30日 (今回、対象期間なし)

◎藤田守議員、柴田実議員、竹本和世議員、中嶋守議員

6~9月分  $5,688\text{円} \times 4\text{人} = 22,752\text{円}$ (上限額) $(948\text{円/月} \times 6\text{ヶ月} = 5,688\text{円})$ 合計 29,632円(新政会)

## タブレット端末使用状況表

(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

会派名(新政会)

| 標 題              | 差出人  | 使用日時    |
|------------------|------|---------|
| 新政会定時連絡          | 藤田 守 | 30.4.2  |
| 新政会定時連絡          | 藤田 守 | 30.4.2  |
| 新政会定時連絡          | 藤田 守 | 30.4.3  |
| 新政会定時連絡          | 藤田 守 | 30.4.6  |
| 会派内協議について        | 藤田 守 | 30.4.10 |
| 議会運営委員会、議会改革検討会議 | 竹本和也 | 30.4.10 |
| 新政会定時連絡          | 藤田 守 | 30.4.11 |
| 座席の報告について        | 藤田 守 | 30.4.11 |
| 本日の提出用紙          | 竹本和也 | 30.4.12 |
| 新政会定時連絡          | 藤田 守 | 30.4.12 |
| 会派行政視察の意見聴取      | 藤田 守 | 30.4.17 |
| 新政会会議のお知らせ       | 竹本和也 | 30.4.19 |
| 訂正               | 竹本和也 | 30.4.19 |
| 幹事会の結果報告         | 藤田 守 | 30.4.27 |
| 新政会行政視察質問について    | 藤田 守 | 30.5.7  |
| タブレット写真添付        | 藤田 守 | 30.5.16 |
| 産業建設委員会資料(案)の送付  | 藤田 守 | 30.5.20 |
| 会派の届出について        | 藤田 守 | 30.5.24 |
| 会派行政視察資料の送付      | 藤田 守 | 30.5.25 |
| 6月議会一般質問調整       | 藤田 守 | 30.5.27 |
| 各派幹事会の結果報告       | 藤田 守 | 30.5.29 |
| 産業建設委員会の意見聴取     | 藤田 守 | 30.5.29 |
| 6月議会一般質問仮通告について  | 藤田 守 | 30.5.30 |
| スクリーン写真          | 藤田 守 | 30.5.31 |
| 6月議会一般質問本通告について  | 藤田 守 | 30.6.4  |
| 各派幹事会の結果報告       | 藤田 守 | 30.6.4  |
| 産業建設委員会資料の送付について | 藤田 守 | 30.6.6  |

|                     |      |         |
|---------------------|------|---------|
| 各派幹事会の報告            | 藤田 守 | 30.6.13 |
| 一般質問の録音データ違い        | 藤田 守 | 30.6.16 |
| 産業建設委員会審査報告について     | 藤田 守 | 30.6.18 |
| 議会だより原稿の送付          | 藤田 守 | 30.6.20 |
| 産業建設委員会行政視察の質問      | 藤田 守 | 30.6.25 |
| 予算審査委員会の質問について      | 藤田 守 | 30.6.27 |
| 水道事業の包括委託の継続審査について  | 藤田 守 | 30.6.28 |
| 急な話です。              | 藤田 守 | 30.6.28 |
| 新政会の報告              | 藤田 守 | 30.6.29 |
| 議会運営委員会会派協議         | 奥藤 晃 | 30.7.2  |
| 幹事会の報告              | 藤田 守 | 30.7.3  |
| 会派協議                | 奥藤 晃 | 30.7.5  |
| 会派協議の日程調整について       | 藤田 守 | 30.7.5  |
| 会派協議の行政視察について       | 藤田 守 | 30.7.8  |
| 唐津市の行政視察質問          | 藤田 守 | 30.7.11 |
| 会派行政視察について          | 藤田 守 | 30.7.11 |
| 会派行政視察のご連絡          | 藤田 守 | 30.7.16 |
| 会派行政視察の資料送付         | 藤田 守 | 30.7.22 |
| 常任委員会の構成に係る会派協議の資料  | 奥藤 晃 | 30.8.4  |
| 産業建設委員会行政視察の感想等送付   | 藤田 守 | 30.8.9  |
| 産業支援に関する政策提言(中間報告等) | 藤田 守 | 30.8.21 |
| 産業建設委員会の素案送付(政策提言)  | 藤田 守 | 30.8.22 |
| 各派幹事会等の定時連絡         | 藤田 守 | 30.8.27 |
| 9月議会一般質問仮通告         | 藤田 守 | 30.8.29 |
| 9月議会一般質問仮通告について     | 藤田 守 | 30.8.29 |
| 9月議会一般質問等について       | 藤田 守 | 30.8.29 |
| 写真                  | 柴田 実 | 30.9.1  |
| 一般質問本通告について         | 藤田 守 | 30.9.3  |
| 会派視察の日程             | 奥藤 晃 | 30.9.7  |
| 産業建設委員会審査報告         | 藤田 守 | 30.9.19 |
| 決算委員会に向けて           | 藤田 守 | 30.9.20 |

|                   |      |         |
|-------------------|------|---------|
| 行政視察先について         | 奥藤 晃 | 30.9.20 |
| 会派視察の案内           | 奥藤 晃 | 30.9.20 |
| 会派視察の案内           | 奥藤 晃 | 30.9.20 |
| 決算委員会における自由討議のテーマ | 藤田 守 | 30.9.25 |
| 会派視察の件            | 奥藤 晃 | 30.9.25 |
| 中六敬老会の中止について      | 藤田 守 | 30.9.27 |
| 出張委員会の質問事項について    | 藤田 守 | 30.9.30 |
|                   |      |         |
|                   |      |         |

**\* 摘要**

これは、差出人の送信のみのデータであるが、会派内は、コメントの書き込みでタブレットを使用している。